

# 令和 4 年度 いしかわこどもの未来創造まちづくり事業 活動報告書

デジタルとアナログの融合 DX みんなの町づくり

## NPO法人みんなの畑の会

20年後のふるさとの里山をつくるために

地域の子供たちと住民とが楽しく交流しながら、にぎわいを創り出し、後継者不足で荒廃する休耕田、竹林、里山の環境保護と資源の有効活用を目指します。



NPO 法人みんなの畑の会 × 四十万小学校育友会

## 1. 事業概要

- 概要
- 開催日 令和4年7月～9月
- 会場 金沢市四十万町 みんなの畑の会 / 四十万小学校
- 主催 NPO法人みんなの畑の会 / 四十万小学校 育友会
- 参加者 小学生 : 462名  
関係者 : 520名

## 2. 活動目的

持続可能な地域コミュニティの活性化を目的に地域住民と地元小学校育友会との協働事業により地域コミュニティの拡充を目指す。

## 3. 開催記録

### ① 『みんなのお店（リアル販売員体験会）』

概要：キャリア教育として実際の販売員を体験してもらう

開催日：令和4年7月31日

会場：金沢市四十万町 みんなのお店

参加者：小学生4名、保護者2名、関係者5名

時間：9時から12時

### 当日の写真



## ② 『デジタル紙芝居制作』

概要：四十万の地名由来をプロの紙芝居士に制作を依頼して、それをデジタル版として you tube 配信をすることで広く周知ができ、またそれが記録として後世に残る。制作した動画は四十万小学校創立 40 周年の記念式典時に上映をして全校児童が視聴しました。

開催日：令和 4 年 8 月 2 日

会場：四十万小学校

参加者：小学生 4 6 2 名、保護者 5 名、関係者 3 0 名

## ③ 『竹灯ろう祭りの開催』

概要：四十万の山にある竹を活用したワークショップ、しの笛などの音楽祭と同時に移動販売車も呼び地域住民が参加できるイベントを実施

開催日：令和 4 年 8 月 2 7 日

会場：金沢市四十万町 みんなの畑

参加者：小学生 1 0 0 名、地域住民 1 8 0 名 関係者 2 0 名

## ④ 『ビオトープ製作』

概要：県立大学の上野准教授の監修のもと、ビオトープ製作を実施。

開催日：令和 4 年 9 月 2 4 日

会場：金沢市南四十万 みんなの畑の会

参加者：小学生 4 名、保護者 5 名、関係者 6 名

## 4. 事業の成果

コロナ禍でも出来る範囲でのイベント開催が出来たので有意義な活動になったかと思えます。またそれぞれの事業が次年度以降も継続できる見込みの為、良いきっかけ作りになったと感じます。

## 5. 参加者の声（感想・意見など）

- ・リアルお店屋さんごっごとなる販売体験は実際の販売員の苦勞を知ることができ、そして17点の商店が売れたので楽しかった（5年・小学生）
- ・四十万の地名の由来を知ることができて、また you tube での動画配信は今後も残る形となったので、これからもたくさんの人に知ってもらう機会が増えた（学校関係者）
- ・今までは無かった竹灯籠祭りは気軽に参加できる良いお祭りでした。来年も是非開催してほしい（地域住民）
- ・自然の生物を知る機会とそれを維持・継続していく大変さを身をもって体験しました（小学校 保護者）

## 6. 課題

- ・今後も継続していく為には更なる若手人材の育成が必要で地域住民を巻き込んだ持続可能な取り組み。

## 7. 今後の活動予定

みんなの畑の収穫祭を実施予定

- ・焼き芋交流会
- ・ビオトープ観察会（県立大学自然化学科との協働研究）
- ・フジバカマの植栽とアサギマダラの観察など
- ・みんなのお店での委託販売など

## 8. おわりに

校区内に残る農地は地主の高齢化と後継者不足により耕作放棄され宅地化が進み、自然も変化して地域の自然環境も変わって来ています。生物多様性の重要性を求める社会環境作りの為、地域の資源と環境と地域の歴史文化を知る地域住民（高齢者の皆さん）の知恵の伝聞を参考に、次世代に繋ぐ活動として引き続き連携した活動を進めて参ります。